

水道事業会計決算状況

1億732万円の黒字

平成15年度は冷夏の影響で1人当たりの使用水量が減少する厳しい状況でしたが、四羽地区の給水開始などによる給水件数の伸びにより昨年度より約1億63万円多い10億7,044万円の収入となりました。

支出は、昨年度と比べて、撤去した資産の価値が低かったことなどにより昨年度より1,991万円少ない9億6,312万円となり、1億732万円の黒字となりました。この利益は借入金返済のために積み立てました。

平成15年度に行った 主な事業

矢立地区統合同易水道整備事業
矢立地区にある陣場、長走、松原、白沢・寺の沢、岩本の5つの簡易水道を統合して上水道に接続する統合同易水道整備事業に着手しました。5力年の事業で平成20年3月に全面給水する予定です。

送配水管整備事業
未給水区域を解消するため、配水管の布設工事を立花、下代野地内などで行いました。

老朽管更新事業
老朽化し漏水の恐れのある石綿セメント管の更新工事を平成17年度までを目標に行っています。15年度は釈迦内、萩の台地内などで行いました。

浄水施設等整備事業
水の安定供給のため計画的に施

平成15年度の給水状況

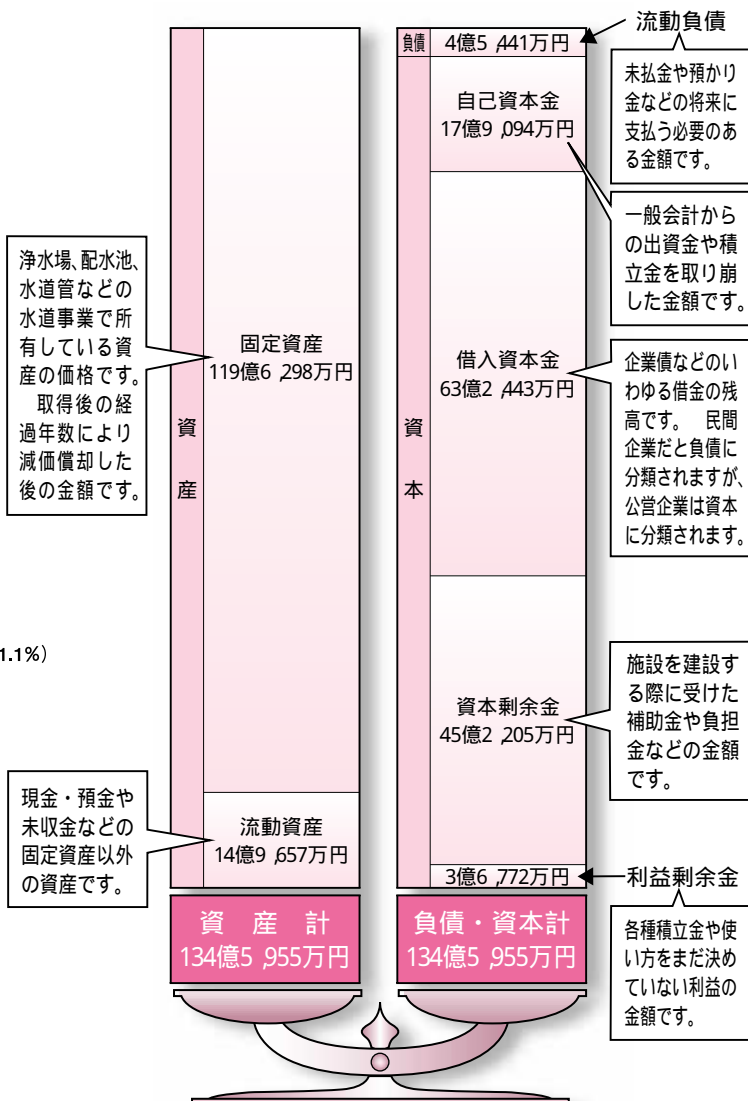
上水道	
給水人口	52,035人
給水戸数	18,394戸
給水区域内普及率	92.5%
年間総配水量	5,347,781 m ³
年間有収水量	4,320,672 m ³
有収率	80.8%
1日最大配水量	16,340 m ³
1日平均配水量	14,611 m ³

簡易水道	
給水人口	4,902人
給水戸数	1,473戸
給水区域内普及率	73.5%
年間総配水量	568,684 m ³
年間有収水量	352,916 m ³
有収率	62.1%
1日最大配水量	2,070 m ³
1日平均配水量	1,554 m ³

設の整備を行っており、15年度は、遠方監視制御盤や、沈殿池汚泥かきよせ機などの整備を行いました。

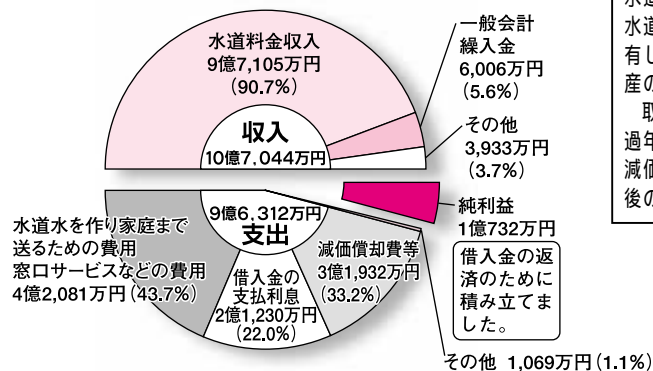
配水管管理システム導入事業
配水管の状況をパソコン画面上に表示された地図で確認できる配水管管理システムを導入しました。

平成15年度大館市水道事業貸借対照表 (平成16年3月31日現在)



収益的収支 (消費税抜き)

< 水道事業の運営に関する収支 >



資本的収支 (消費税込み)

< 水道施設の整備に関する収支 >

